

今後、冬を迎えるにあたり、会員の皆様には、「新しい生活様式」を継続するとともに、家庭や職場内において、こうした換気や湿度の確保にも気を配っていただくようお願いいたします。併せて、具合が悪い方や持病をお持ちの方がおられる場合には、家の中でも状況に応じてマスクを着用するといったことを、家族で話し合っていたいただきたいと思います。

また、これから年末に向けて、外食する機会が増えてくるかと思えます。「飲酒を伴う懇親会」などの5つの場面を感染リスクが高まる場面として示されています。外食などの際には、それらのことに気を配っていただくようお願いいたします。

## 寒い季節における新型コロナ感染防止等のポイント

### 1. 基本的な感染防止対策の実施

- マスクを着用（ウィルス移さない！）
- 人と人の距離を確保（1mを目安に！）
- 「5つの場面」を参考に
- 3密を避ける、大声を出さない

### 2. 寒い環境でも換気の実施

- 機械換気による常時換気
- 室温が下がらない範囲で常時窓開け  
（窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！）

### 3. 適度な保湿（湿度40%以上を目安！）

- 換気しながら加湿を  
（加湿器使用や洗濯物の室内干し）
- こまめな拭き掃除を

#### 『5つの場面』

- 場面①：飲酒を伴う懇親会
- 場面②：大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面③：マスクなしでの会話
- 場面④：狭い空間での共同生活
- 場面⑤：居場所の切り替わり

# 安全就業のために

公益社団法人会津美里町シルバー人材センター 安全委員会

公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会

『安全就業ニュース』10月号から

## 1. 事故の概要(就業中)

3月下旬の午後4時頃、会員3名により個人宅の植木(地上約4m)の剪定を行っていた時、梯子から降りて、頭止めした木を落とそうと地面において2人でロープを引っ張ったが落ちなかった。そこで1名が地上約3mの高さまで梯子で登りノコギリで木を切ったところ、切った木とともに落下した。脊髄及び頭蓋骨を骨折し、入院後6カ月以上経過したが現在も

## 2. 事故の原因

剪定当初は、ヘルメット及び墜落制止用器具(安全帯)を着用していたが、再度梯子を登った時には、約3mでの高所作業であるにも関わらず、ヘルメット及び墜落制止用器具(安全帯)を装着しないで作業を行ってしまったこと。

## 3. 再発防止策

剪定作業時においては、「必ずヘルメットを着用すること」、「三脚、梯子を使用するときは、確実に固定すること」、「高所での作業は墜落制止用器具(安全帯)を使用すること」、及び「加齢による運動能力の低下も考慮して、ゆっくり余裕をもって就業すること」等の指導を行った。

厚生労働省は、剪定作業に限らず梯子や脚立を使用する場合は、高さ1m未満の場所での作業であっても墜落時保護用のヘルメットを着用して、頭部の負傷を防ぐことを呼び掛

当シルバー人材センターでも、剪定作業時の事故が増えています。

作業にあたっては、面倒くさがらず、ヘルメットを着用し、ゆっくり余裕をもって安全第一を心がけてください